

そして、折り疊んで外側になる所の二面に、各自好き々々の切紙をさせた。

之でいよゝく豫定したものが全部出来た。手や足の

唱歌遊戯

第十三週

唱歌 二回

電車ミ汽車(コドモノクニ)

歌詞の二番で、汽車は弱蟲だ云ふ取扱ひは如何かと思ふが、全體の調子がよく、氣持よく歌へるので、子供たちは好んで歌ふ。

オシャウグワツ(エホンシャウカ)

もう一つの年少組で習つたお正月の歌の方が、古くから歌はれてゐるだけに親しまれてゐる様だが、これを歌つてお正月を迎へるうれしい氣持を表はすには變りなく、お正月のうた云ふミニ子供の聲が一段ミ活氣づくのはほほ笑ましい限りだ。

動くものばかり、みんな自分達の拵へたものばかり、

みんなで七種、之を最後に出来たかばんに入れて、喜んで、今學期のおしまひの日に家へ持つて歸る。

遊戯 三回

オシャウグワツ(記事参照)

第十四週

唱歌 三回

凧(をさなごのうた)

皇太子様お生れなつた

年少組ミ同様。

一月一日の歌

年長組にもなれば、大抵は兄弟の歌ふのを聞覚えて知つてゐる。たゞよく世間でふざけて變に歌はれてゐるのを、正しいのを知らずに真似て歌つたりする子供もゐるので、この際先生が正しい歌を歌つて聞かせることは必

オシャウグワツ

♩=108

一. オ シャウグワツ ガ ク ルー ト ヒ ト ツ オ トー シ ガ
 二. オ シャウグワツ ガ ク ルー ト タ コ ラ ア ゲー タ リ

オ ホ ク ナ ル ウ レ シ イ ナ ウ レ シ イ ナ
 スゴ ロ ク シ タ リ ウ レ シ イ ナ ウ レ シ イ ナ

要であらう。

遊戯 二回

前のおさらひ。

第十五週

唱歌 一回

遊戯 二回

お休み前に一度組全體の子供たちと相談をして、あらかじめプログラムを作り、好きなものを歌つたり、遊戯をしたり、又お話をしたりして、お菓子でも頂きながら楽しい一ときを過すのは嬉しいものだ。又寒い時には先生も仲間に入つて、元氣一杯で競争遊戯をするに大變暖かくなる。

オシャウグワツ 戸倉ハル氏振付
 エホンシヤウカ

準備 一列圓形を作り内方を向く。

一 オシャウグワツガクルト

皆手をつないで軽く上下に振りながら圓の中心に向つて八歩進む。

ヒトツオトシガ

手をはなし拍手しながら八歩さがり、元の位置に戻る。

オホクナル

左手の指を順に折り、右手の人さし指をそばに持つていつて両手軽く動かしながらかぞへる様子をする。

ウレシイナ

右足から圓周に沿つて體は中心をむけたまゝ右に横に歩く。それと同時に左手を體の側面から頭上を通して右肩上のところで右手ミ合はせ最後に拍手一回行ふ。

ウレシイナ

前のウレシイナと同じ動作を左に行ふ。

談話

第十三週

文福茶釜

動物が化けて人間の動作をする話は随分多い。話を作る

二 オシャウケワツガクルト

一番ミ同じ

タコヲアゲタリ

両手でたこの糸をしつかり持ちこれをひきながら八歩後にさがり元の圓周上の位置に戻る。顔は上の風の方向にむけて。

スゴロケシタリ

自分の位置に立つたまゝ兩掌を少しふくらませて合せ中に賽を入れたミしてかるく右、左、右、左ミふる。

ウレシイナウレシイナ

一番ミ同じ。

上にも誠に易々して事が運べるので、よく昔から狐や狸が化けた話があるが、いつ迄續いてゆくものかと思はれる。多くは化けて人を欺したり、悪事をしたりするが、